

INTERNET YELLOW PAGES

199811



INDEX インターネット

NEW YELLOW

- 特集「スポーツを満喫しよう」
- 国内スポーツニュースをチェック!
- 海外のスポーツシーンを堪能!
- 今月のWHAT'S NEW!!
- COOL SITE 55

カラッと晴れて気持ちのよい秋。スポーツをやるのも観るのも、今の季節が最適だろう。日本のプロ野球は佳境に入り、海の向こうのアメリカではフットボールリーグが開幕。ますます目が離せない国内外のスポーツシーンは、インターネットでしっかりチェックだ!

ひいきチームの試合結果はとにかく気になるものだ。テレビは見られない職場でも、インターネットのスコア速報ならこっそり見られるかも。リアルオーディオやリアルビデオによる中継もあるので、テレビや新聞では見られない情報はインターネットで手に入れよう。



特集 「スポーツを満喫しよう」

速報性が命と言っても過言ではないスポーツニュース。インターネットなら日本のニュースも海外の試合結果もすぐに手に入る！

1998 SPORTS SPECIAL

特集「スポーツを満喫しよう」

国内スポーツニュースをチェック!

海外のスポーツシーンを堪能!

速報からコラムまで

国内スポーツニュースをチェック!

テレビなどではなかなか放送されない情報も、インターネットでは詳しく見られる。同じニュースに関する各サイトの論調を見比べるなんていうこともできるのだ。

Yahoo! SCOREBOARD

<http://sports.yahoo.co.jp/>



速報+データで内容充実

Yahoo!のスポーツニュースのコーナーは、内容が非常に多彩だ。

野球やサッカーの試合はスコアをリアルタイムに更新しているので、テレビやラジオの中継がない試合でもゲームの状況がよくわかる。また、順位表や日程、選手の成績といったデータも完備されているので、このサイトを見るだけで日本のスポーツシーンが把握できるぞ。スポーツ紙や雑誌と提携しているので、関連ニュースもすぐ読める。大相撲やゴルフ、ビーチバレー、競馬などの情報も充実している。

テレビ番組表や関連するYahoo!のカテゴリーにすぐ飛べるようになっているので、興味のある話題を掘り下げることができる。

Sports Watch

<http://www.watch.impress.co.jp/sports/>



メール版と組み合わせれば面白さ倍増

インプレスが発行している電子メール新聞「Sports Watch」のサイト。プロ野球やJリーグの試合速報をトップページにまとめてすぐに見られるようにしており、大きなニュースは写真入りで読める。

ショックウェーブフラッシュを使ったゲームのリプレイ「バーチャルスタジアム」や、リアルオーディオを使ったJリーグの試合中継「J.League '98」など、インターネットならではのコンテンツが満載されている。

メール版は、一日のスポーツニュースをまとめて読めるほか、大記録が達成されたときなどに号外も出されるので、ウェブと併せて読めばさらに面白いぞ。

Nikkan Sports News

http://www.nikkansports.com/



芸能ニュースもフォロー

スポーツ新聞といえは第1面の見出しで売り上げが決まるといわれるが、日刊スポーツのサイトでは毎日その日の本誌の第1面をスキャンした画像を掲載している。毎朝の更新のほかに、最新ニュースを順次更新する速報コーナーも見逃さないぞ。さらに芸能ネタも欠かせないところ。毎日のニュースのほかに、芸能人のインタビューや芸能担当デスクの裏話などが読める。

ベースボールマガジン社

http://www.bbm-japan.com/



どこよりも早いプロレス速報は必見

「週刊ベースボール」や「週刊サッカーマガジン」でおなじみのベースボールマガジン社。この両誌からは、毎週2本のニュースが読める。その日のうちに試合結果を掲載する「週刊プロレス 熱闘譜 速報」や、全国で開催された主要な競技会の記録を検索できる「陸マガ記録室」は、ほかのサイトでは絶対に見られないコンテンツだ。

XUSXUS

http://www.xusxus.com/



速報プラスアルファが魅力

1つ1つの記事が長めで、しっかりニュースを掘り下げる感じに好感が持てる。定番ともいえる野球やサッカーのほか、ラグビーの報道にも力を入れている。日ごろ自分の好きなスポーツの情報が少ないと感じている読者にはおすすめだ。過去に掲載した記事をカテゴリー別に分類して読めるようにしてあるなど、速報以外の楽しみ方が充実している。

JORF Radio Nippon

http://jorf1422.excite.co.jp/jorf1422/



リアルオーディオで巨人戦中継が聞ける!

ラジオ日本のサイトでは、プロ野球のジャイアンツの主催試合を、リアルオーディオで中継している。しかもラジオ日本による実況の音声だけではなく、ショックウェーブフラッシュでゲームを再現する「データスタジアム」の画面と、読売新聞社の記者が書く試合速報が同時に進行する。1球1球の分析も見られるので、今までとはまったく違った野球の楽しみ方ができる。

Sports WAVE

http://www.sports-i.co.jp/



Copyright ©1998 JAPAN SPORTS CHANNEL INC.

海外のスポーツニュースならおまかせ

CS放送のスポーツ専門チャンネル「スポーツ・アイ」は、海外のスポーツシーンに強い。メジャーリーグはもちろんのこと、バスケットボール(NBA)やアメリカンフットボール(NFL)、アイスホッケー(NHL)など、日本国内ではあまり報道されないスポーツの結果やニュースが読める。また、読者が意見を交換できる掲示板も用意されている。

G-square Sports

http://www.gsqaure.or.jp/sports/



バランスのとれたリンク集

G-squareの中に設けられたスポーツコーナーは、スポーツニュースや関連ホームページを揃えたリンク集だ。野球やサッカー、ゴルフのほか相撲やアウトドアなどもカバーしている。エクササイズ、インドア競技(パレーボール、ボウリングなど)のリンクもあるのは珍しい。スポーツはもっぱら見るだけという人と、自分でスポーツをする人の両方におすすめだ。

1 9 9 8
S P O R T S
S P E C I A L

中継やビデオオンデマンドも充実

海外のスポーツシーンを堪能!

アイスホッケーやアメリカンフットボールなど、日本ではなかなか報道されないスポーツもある。インターネットでなら時差に関係なく世界中のニュースが手に入る。リアルビデオなどで実況中継も楽しめるぞ!

ESPN.com

<http://ESPN.SportsZone.com/>



CNN/SI

<http://www.cnn.com/>



有料サービスで生中継が見られる

「ESPN.com」は、スポーツニュースサイトの草分け的存在だ。野球やアメリカンフットボール、サッカー、テニスなどの情報を掲載している。NFL.COM（アメリカンフットボール）やNBA.COM（バスケットボール）などのオフィシャルサイトと提携しているので、最新ニュースが読める。リアルビデオを使ったビデオオンデマンドで、ハイライトシーンを見られるのはうれしいサービスだ。リアルオーディオによる実況中継やスポーツニュースもあるぞ。

試合の生中継やデータ分析、特別インタビューは有料サービスだ。利用料金は1年間39.95ドル、1か月4.95ドルで、最初の1か月の利用料はサービスで無料になっている。

写真の美しさはピカイチ

CNN/SIは、テレビネットワークの「CNN」とスポーツ専門雑誌「Sports Illustrated」(SI)がパートナーを組んで運営しているサイト。SI本誌は写真が美しいことで知られているが、ウェブで使われている写真もなかなかのもの。米国のスポーツと海外のスポーツの両方をカバーしているので、F1やサッカーといった、ヨーロッパが中心になっているスポーツに関心がある人は「World」のコーナーがおすすだ。

音声や動画、写真などはテーマ別に分類して「Multimedia」のコーナーにまとめてある。1980年代から始まるスポーツニュースのビデオもQuickTime形式で保管されている。こちらも必見だ。

特集「スポーツを満喫しよう」

国内スポーツニュースをチェック!

海外のスポーツシーンを堪能!

CBS Sportsline

http://www.sportsline.com/



好みに合わせてカスタマイズ可能

「CBS Sportsline」のページは、好きなスポーツや好みのチームを登録すると、それに合わせてカスタマイズできる。また、無料のメールサービスも行っているため、最新のスポーツニュースがまとめて手に入るぞ。このサイトの特徴は、ニュース以外のコンテンツがかなり充実していることだ。たとえば、「Bookstore」のコーナーでは関連書籍の通信販売を行っている。

Fox Sports

http://www.foxsports.com/



すっきりしたデザインで楽々アクセス

「Fox Sports」のサイトは、トップページに整然とニュースの見出しと要約が並んでいて、素っ気ないほどシンプルだ。画像なども少なく、アクセスしやすい。見出しをクリックすれば全文が読めるので、むだが少ない。

「Games」のコーナーには、野球やフットボールのルールや歴史などを題材にしたクイズなどのゲームがある。

Allsports

http://www.allsports.com/



ファンページの制作者を募集中

「Allsports」はニュースと掲示板で構成されている、ファンが中心になって盛り上げているサイトだ。米国のスポーツ以外にも、イギリスのプレミアリーグ(サッカー)やクリケットの試合結果までがカバーされている。

もし好みのチームのページがなかったら「自分でページを作ってください」ということで、「Fan Reporters」という制度を設けている。

Broadcast.com

http://www.broadcast.com/sports/



その日に行われるライブ中継を網羅

ストリーミングコンテンツ専門のサイト「Broadcast.com」では、スポーツのコーナーを設置して、ライブ中継やスポーツ関連のトークショーをリアルオーディオで聞けるようになっている。中継されるのは、野球やフットボールのほか、ゴルフ、テニスなど。記者会見の様子が掲載されることもあるので、憧れのスター選手の肉声が聞けるかもしれないぞ。

The Sports Network

http://www.sportsnetwork.com/



マイナーリーグまで完全網羅

「The Sports Network」は、世界中の通信社と提携しているため、多彩なニュースが読める。特に「Intl Soccer」のコーナーではブラジルやアルゼンチン、イタリアなどの試合結果やニュースが読めるので、サッカーファンにはおすすだ。また、野球やアイスホッケーのマイナーリーグや、野球やフットボールのカレッジリーグまでカバーされているのには脱帽。

ESPN Fantasy Games

http://games-espn.sportszone.com/



自分だけのドリームチームを作ろう

「Fantasy Games」とは、ファンが自分で架空のチームを編成し、現実の選手の成績に基づいて順位を競うゲーム。つまり、「3番はソーサ、4番はもちろんマグワイア」なんていうゴージャスな野球チームを組むこともできる。アメリカではとてもポピュラーで、Yahoo!にも専門カテゴリーが設けられているほどだ。このサイトは、このFantasy Gamesを集めたもの。

WHAT'S NEW 9 8 1 1

新着ページの中でも特に面白いページを紹介するこのコーナー。今回も、5万人を集めてギネスブックに挑戦するオンラインピンゴ大会から、シェアウェアの紹介/送金代行サービスまで盛りだくさんでお届けだ!

CyConCity

<http://www.dion.ne.jp/cc/>

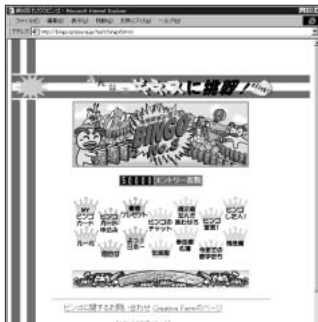


生活に役立つサイトが集合

プロバイダー「DION」を運営しているDDIが、仮想都市「CyConCity」(サイコンシティ)をオープン。インターネットバンキングや航空チケットの予約、宅配便のトラッキングなど、生活に便利なサイトへの入り口が集まっている。イラストのメニューとブルダウンメニューのどちらからでも使いたいサービスのページに飛べる。ほかにも天気予報や新聞、グルメガイドなどへのリンク集もあり、役立つこと間違いなし。

ただのピンゴ

<http://bingo.cplaza.ne.jp/>



ピンゴゲームでギネスに挑戦!

オンラインピンゴ大会「ただのピンゴ」は、5万人を集めてギネスブックに挑戦しようと参加者を大募集している。登録するとピンゴカードが発行される。これを印刷したら毎日いろいろなサイトで発表される数字をつぶしていくだけ。賞品は揃った人から早い者勝ちでもらえるとのこと。このページは毎日チェックしよう。申し込み登録期間は10月5日~11月9日、ピンゴの数字発表は11月9日~12月25日だ。

NewsTrek

<http://www.newstrek.ne.jp/>



新聞記事を自然文で検索

ジャストシステムがニュースサイト「NewsTrek」をオープン。新聞記事のクリッピングサービスや、データベース、ニュース速報、企業情報などを提供している。検索エンジンには、自然文をキーワードにして関連する内容を検索できる「ConceptBase Search」を使っている。利用料金は、見出しまでは無料(週刊東洋経済のみ見出し1件あたり10円)で、本文を閲覧する際に1記事あたり40~400円となっている。

iMacworld

<http://www.imacworld.com/>



iMacの最新情報が満載

日本でも8月29日に発売されて一大旋風を巻き起こしたiMac。米国ではマッキントッシュ専門誌Macworldが、iMacだけのニュースサイト「iMacworld」をオープンした。本体やソフトウェアに関する最新情報のほか、USB周辺機器のレビュー「USB watch」などがある。iMacの写真にコメントを付けて電子メールを送れる「Virtual Postcard」もあるので、利用してみては?

ウェブリング・ジャパン

<http://www.webring.ne.jp/>



リングをたどってウェブをめぐる

「ウェブリング」とは米国で始まった、同じ趣味内容に関するホームページをつないで「輪」(リング)にするというもの。各サイトに表示されるナビゲーションバーの「前のサイトへ」「次のサイトへ」というボタンを押せば、別の人が作った同じトピックスのページに次々とつながるのだ。このページではウェブリングの概要や参加方法の説明と、カテゴリーによるリングの検索コーナーがある。

eiga.com

<http://www.eiga.com/>



【 最新の映画情報はここで! 】

最新の映画情報を満載したサイト「eiga.com」をオープンした。毎月1本を選んでレビューする「e-Special (今月の特集)」や、ランキング、最新ニュースなどを掲載するほか、試写会も企画している。週刊のメールサービス「eiga.com Mail」も同時にスタート。プレゼントコーナーや「映画業界用語辞典」もあるので、映画好きにはこたえられないサイトになりそうだ。

旅道楽+(プラス)

<http://jtb.hal.ne.jp/>



【 温泉好きは要チェック 】

JTB 旅館ホテル連盟鳥取支部がホームページを開設した。「温泉道楽」のコーナーでは、鳥取県内にたくさんある温泉の中から8つを選び、それぞれの泉質や効能のほか、現地の地図、そこで開催される祭りやイベント情報などが掲載されている。温泉が好きなのはチェックしてみよう。旅館・ホテルの紹介や伝言板、アクセスマップ、鳥取関連のリンク集などもあるぞ。

駅前探検倶楽部

<http://ekimae.toshiba.co.jp/>



【 主要都市をカバーした出張案内 】

首都圏の駅の情報網を網羅して便利な「駅前探検倶楽部」に、「出張案内」のコーナーが登場した。地域は、首都圏と全国主要都市をカバー。それぞれの都市の時刻表に基づいた「乗り換え案内」には、羽田発着の飛行機の時刻表も含まれている。所要時間や費用も計算してくれる。都市名もプルダウンから選ぶだけで操作はとても簡単だ。

ガーラフレンド

<http://www.friend.ne.jp/>



【 興味のある話題で盛り上がる 】

掲示板やチャットルームなどを中心としたバーチャルコミュニティー「ガーラフレンド」が登場した。コミュニティーはテーマ別に設置されている。入会登録(無料)をすると、コミュニティーの中でお互いのプロフィールが付いている電子名刺の交換ができるようになっていて、初めての人でも交流がはかりやすい。パーティールーム(個人掲示板)やアンケートも簡単に開設できる。

MEDIA PORT NIPPON

<http://mpn.cjn.or.jp/mpn/>



【 通販モールがリニューアル 】

ショッピングモール「メディアポート日本」がリニューアルした。SET 1.0に対応して安全に電子決済ができるようになったことを記念して、11月30日まで電子決済で買物をした人の中から抽選で毎月50名に5000円分のサイバー商品券があたるキャンペーンを行っている。また、携帯端末などのシャープ製品の専門店「デジタルマーケット」と、クラシックCDを格安で販売する「MPNCDマーケット」が新たに開店した。

メディカル・プロフェッション

<http://www.so-net.ne.jp/medipro/>



【 欲しい情報が手に入る 】

So-net内の医療関係者向け医療専門情報ページ「メディカル・プロフェッション」に、利用者の属性に合わせて情報を選んで提供する「My Medipro」のサービスが加わった。医療関係者が専門分野や知りたい情報をあらかじめ登録すると、必要分野の新薬・副作用情報、最新医療ニュースなどを効率的に入手できる。サービスは無料だが、利用者を医療関係者に限定するために、会員登録が必要だ。

PHP INTERFACE

<http://www.php.co.jp/>



流行がひと目でわかる

PHP 研究所のホームページが2周年を記念してリニューアル。各種週間ランキングから現在の流行を追う「FAVOR chase」が登場した。内容は、CDの売り上げランキングやレンタルランキング、書籍のベストセラーランキングなど。ジャンルやアーティスト名から作品を検索できる機能も便利だ。ユーザーがおすすめの情報を投稿するコーナーもある。流行を支える人たちの生の声がかき立ててきそう。

JAPAN PRESS INDEX

<http://jpi.kyodo.co.jp/>



全国の新聞41紙を検索

全国紙のホームページは数あれど、地方面まではカバーできていないのが現状だ。このJAPAN PRESS INDEXでは、全国の41の新聞社と提携して、内容をまとめて検索できるようにしている。検索エンジンには「goo」が使用されていてとても使いやすい。「ふるさと情報」や「天気予報」など、カテゴリ別のインデックスもあるので、テーマからも探せる。地域に密着した情報が見られるぞ。

ComicDepart

<http://www.gsquare.or.jp/comics/menu.html>



あのサンライズのキャラクターが登場

ガンダム生誕20周年を記念して、「SUNRISE WORLD・Mission1」がオープンした。これは有名なアニメプロダクションのサンライズが制作するデジタルコミックで、漫画などの静止画に、声優によるセリフや効果音、音楽などが加えられている。見るにはショックウェブフラッシュが必要だ。ガンダムのほかライディーンなど歴代の人気キャラクターも登場する。アニメファンは要チェックだ。

T.M.Revolution

<http://www.antinos-r.co.jp/tmr/>



人気アーティストTMRのすべてがわかる

パワフルなボーカルと、テンポのよいトークで大人気のT.M.Revolution。待望のオフィシャルホームページがオープンした。「TOUR」のコーナーでは、その日の公演会場をチェックしたり、ホールの外観や内装が見られる。また、ファンによるコンサートの感想やご当地の名物自慢などを受け付ける投稿コーナーがあり、見るだけでも盛り上がりを感じられるぞ。

プリンスホテル ゴルフリゾート

<http://www.princehotels.co.jp/golf/>



ゴルフプレーのオンライン予約が可能に

これまでゴルフプレーとホテル宿泊をセットにした「ゴルフ宿泊パック」の予約を行っていたプリンスホテルが、ゴルフプレーのみの予約受け付けも開始した。予約できるのはプリンスホテルに併設されているゴルフ場と、プリンスグループ系列のゴルフ場の合わせて40か所。インターネットで予約すると通常よりも得になるプランが用意されている。

SF - SAMURAI FICTION

<http://samurai.garage.co.jp/>



話題の映画の製作日記

ミュージックビデオの監督として有名な中野裕之氏が初めてメガホンをとった映画「サムライ・フィクション」の製作日記。出演者も風間杜夫、布袋寅泰、吹越満、緒川たまきなどと、ひとくせもふたくせもある俳優やミュージシャンばかりで作った時代劇は、あやしい雰囲気たっぷり。今後公開予定の上映館リストもあるので、近くの映画館をチェックして行ってみよう。

インターコラボレーションネット

<http://www.ic-net.ne.jp/ICN/>



【 あなたのアイデア買います! 】

普段の生活の中で「こんなものが欲しいな」、「こんなサービスがあったらいいな」と感じる場面はけっこう多い。そんなニーズと企業の商品開発を結び付けるのが「インターコラボレーションネット」だ。こうしたいというニーズを「こんなものがあったらいいな掲示板」に投稿するとデータベースに登録される。会員の企業が検索して審査を行い、採用されると商品と1000円分の商品券が送られる。

Yahoo! 就職・転職情報

<http://employment.yahoo.co.jp/>



【 就職・転職に関する情報満載 】

Yahoo!とリクルートが提携して、求人情報のページをオープンした。毎週最新の求人情報や説明会のスケジュールが追加・更新されるほか、関連ニュースや業界トレンドの解説も行われている。掲示板も設置されていて、経験者に質問したり話し合ったりできる。現在のところ企業からの求人情報を検索できるのは社会人向けの情報のみだが、新卒学生向け情報も10月30日から掲載される予定だ。

KidsNet Club

<http://www.kidsnet.ne.jp/>



【 子供向け専用ページがリニューアル 】

子供向けのホームページ「KidsNet Club」が大幅にリニューアルした。今回の目玉は、オリコンチャートのベスト10を隔週で掲載し、そのカラオケをダウンロードできる「カラオケヒットチャート」。ほかにアウトドアのノウハウを教えてくれる「アウトドアクラブ」や料理教室「ビストロKid's」などが新設された。大人も十分楽しめるコンテンツが多いので、子供と一緒に見てみては?

読売ホームガイド

<http://www.yomiuri.co.jp/homeguide/>



【 2万5千件の物件を検索可能 】

読売新聞社のヨミウリ・オンラインに、住宅情報コーナー「読売ホームガイド」が登場した。不動産流通経営協会と提携し、全国の約2万5000件のマンション、戸建、土地の物件を地域や駅名から検索できる。ほかにも住宅ローンや金利に関する新聞記事を参照できる「住宅ニュース」や、関連する団体へのリンク集もある。家を探すときにはここからスタートしてみよう。

Tokoro Web

<http://www.tokoro.co.jp/>



【 所ジョージのオフィシャルサイト 】

のほほんとした雰囲気やCMやテレビでおなじみの所ジョージ氏のオフィシャルサイト。頭囲から靴のサイズまで網羅した「トコロ・データ」や、自身が経営しているレストラン「ソルト&ペッパー」の案内など、内容は多彩。所氏のコンセプトで作られている雑誌「Lightning」のサイトにもリンクしている。もちろん出演テレビ・ラジオ番組や、CMのリストもあるぞ。

毎日のお天気

<http://weather.mainichi.co.jp/>

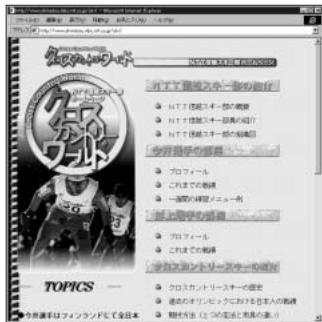


【 すべての情報を県ごとに表示 】

毎日新聞が株式会社気象サービスと提携して、天気予報サイト「毎日のお天気」をスタートさせた。明日の天気や週間天気、こよみなどを県ごとに一覧できるようにしてある。また、大雨や大雪などの「警報」の情報や、関連の新聞記事が見られる。アメダスやひまわりの映像、海外の天気、ゴルフ場の天気、洗濯指数も表示されるので、目的に合わせて使おう。

クロスカントリーワールド

<http://www.shinetsu.mbc.ntt.co.jp/ski/>



日本の第一人者の選手を紹介

NTT信越スキー部が、「クロスカントリーワールド」をオープンした。所属している今井選手は長野オリンピックで日本人初の入賞を果たした第一人者、畔上選手は次回のオリンピックでの活躍が期待されている若手ホープだ。日本ではあまり盛んではないが、長野オリンピックをきっかけに注目を浴びつつあるクロスカントリースキーの活性化を目指している。

バーチャル魚市場

<http://tele.digitalvillage.gr.jp/~fishmrkt/>



会員限定の通信販売

高知県のKOCHI 2001 PLAN 推進協議会が、マルチメディアによる地域活性化を検証するために作ったのがこのページ。会員（登録は無料）になると、伝統的な一本釣りで釣り上げたカツオのたたきや、生きゝの清水サバ（ゴマサバ）、アジの朝開きなどが6か月間、月1回宅配される。会員募集は99年2月28日まで。また、会員でなくても、単品で通信販売を利用できる。

トイキングダム

<http://www.dir.co.jp/tomy/>



おもちゃカタログをインターネットで

おもちゃ大手メーカーのトミーが、鉄道玩具の「プラレール」とミニカーの「トミカ」のカタログをインターネットで公開した。トミーはA5サイズの紙のカタログを玩具店などで配布しているが、人気が高く品切れを起こしていたこと。カタログのファイルはアクロバット形式なので、玩具店で配布しているカタログとまったく同じで、拡大も自由に行える。

WNN STREAM

<http://www.wnn.or.jp/wnn-stream/>



WNNの映像コンテンツを検索

NTTのWNN（World Nature Network）のサイトに、WNN内の映像コンテンツ情報を検索できるページ「WNN」がオープン。WNNの各コーナーで蓄積してきた映像コンテンツをまとめ、「自然」「伝統」などのテーマや、キーワード検索ができるようにした。また、定点カメラやイベントライブ中継などもまとめてある。必要なプラグインも1か所にまとめてある。

Shimano Home Page

<http://www.shimano.co.jp/>



釣り具の情報が充実!

釣り具とサイクルパーツで世界的にも有名なメーカー「シマノ」の日本語ページがオープンした。会社紹介のほか、新製品情報やカタログ請求コーナーなどがある。製品ガイドのコーナーは、磯/船/投げ/溪流/鮎/へら/バス/ソルト/トラウトというように、釣りの種類ごとに細かく解説している。サイクルパーツのコーナーは工事中だが、今後に期待したい。

アート村

<http://www.pasonasunrise.co.jp/>



「才能に障害はない」

障害を持つ人たちのためのアート講座を開催したり、ギャラリー「アート村」を開設したりしているパナソニックが、アート村で展示している作品を公開するホームページを開設した。視覚障害のある人にも楽しんでもらえるように、音声読み上げソフトに対応したページ作りになっている。現在はガラスクラフトの作品を紹介しているが、どれも力強く美しい。

TAKEYA ONLINE SHOPPING

<http://www.takeya.co.jp/>



有名ディスカウントショップの オンライン版

東京・御徒町駅の前にそびえる紫色のビルといえば、有名ディスカウントショップの多慶屋(たけや)だ。その多慶屋が厳選した商品のインターネット通販を開始した。取り扱っているのはインテリアからギフト、時計など300点以上。商品名やキーワードで検索もできる。本店の規模から考えれば品数は多くないが、かなり安く提供されている。もし欲しい商品がカタログの中にあるのならお得だ。

アルタマテバコ

<http://www.studio-alta.co.jp/>



新宿のタウン情報が 盛りだくさん

テレビ番組「笑っていいとも」の収録をしていることでもおなじみのスタジオアルタ。そのアルタのサイトには、館内の案内をはじめとする新宿新都心周辺のタウン情報が満載されている。地図やジャンルから目的地を探せるので、待ち合わせ場所を決めるときなどにも使えるぞ。また、新宿駅近辺に設置されたライブカメラをWWWブラウザから動かせる。これで駅前の人物観察ができるかも。

GUNDAM PERFECT WEB

<http://www.gundam.channel.or.jp/>



ガンダム公式サイトがついに登場

20年前にテレビでシリーズ第1作が放映されて以来、常に根強いファンを持ち続けてきたガンダム。サンライズとバンダイが、ついに公式サイトをオープンした。プラモデルやガシャポンなどの商品情報や、映画/ビデオなどの映像情報が詰まっている。また、ガンダムに関する知識を競う「ガンダム共通一次」などのオンラインイベントもあるので、「昔ガンダムが好きだった」という人はぜひどうぞ。

マンション価格自己診断 SENS

<http://www.kantei.co.jp/>



自分のマンションの価値、 わかります?

状態によって評価が大きく変わるのがマンションの価格。素人には価格の査定が難しく、売る段階までいくらになるかわからないこともある。この価格自己診断を自分でやってみようというのがこのページだ。ユーザーは10の設問に答えるだけで査定額を計算してもらうことができ、市場動向などのデータも付いてくる。価格は10,000円で、プロバイダー経由でクレジットカードで支払う。

site am/pm

<http://www.ampm.co.jp/>



デリス便の メニューカタログが登場

コンビニエンスストア「am/pm」のサイトが大幅リニューアル。全国320店舗で実施している宅配サービス「デリス便」のメニューカタログが登場した。これがあれば、手元に紙のカタログがなくてもデリバリーを注文できる。また、コンビニ業界用語やam/pm独自の用語を解説した「am/pm辞典」には、日ごろ気づかなかったコンビニの秘密が詰まっていた面白。新製品やキャンペーンの案内もあるぞ。

bamboo

<http://bamboo.nifty.ne.jp/>



ソフトウェアダウンロード サービスがスタート

ニフティがソフトウェアのガイドとダウンロードのサービス「bamboo」をスタートした。サービスは無料で、ニフティの会員でなくても利用できる。現在のところ、ウィンドウズ用とマッキントッシュ用合わせて50本のソフトが公開されているが、今後どんどん拡充されるとのことなので期待したい。ニフティサーブの会員ならばシェアウェアの送金代行サービスを利用できるので、さらに便利だ。

ねこまくらぶ



1 【趣味】

招き猫

千客万来、開運招福。客や福を招くといわれる招き猫が静かなブームになっている。低迷する景気のせいだろうか。果たして招き猫は日本経済を救えるのか?! (物草)

<http://www02.so-net.ne.jp/~nekoma/>

日本招猫倶楽部という招き猫愛好家の集まりがある。その公認サイトがここ。毎年9月29日に伊勢や瀬戸で開かれる「来る福 招き猫まつり」など、日本招猫倶楽部主催のイベント情報や入会方法などが掲載されている。会員である職人やアーティストたちの作品を集めたギャラリーもある。



KACHIMO's HOME

<http://www.sainet.or.jp/~kachimo/>

おもちゃ箱のような賑やかで楽しいサイト。招き猫のコーナーに入ると、作者のコレクションを種類別に展示している。今戸焼きの招き猫や小幡人形の招き猫など、その土地に住んでいなければ入手できない招き猫を紹介してくれるのが嬉しい。



Manekineko's World

<http://www.root.or.jp/hmorohas/>

招き猫のコーナーでは、コレクションのほかに街角で見かけた招き猫を多数紹介している。招き猫は商売繁昌を願う縁起物。コレクションとして棚に飾られるのではなく、街の商店に置かれるのが、招き猫の本来の姿だ。今戸神社や豪徳寺という招き猫ゆかりの社寺の訪問記や招き猫のおみくじもある。



招き猫の部屋

<http://www.linkclub.com/~luckycat/>

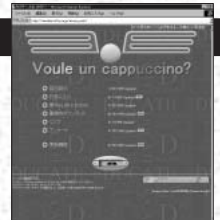
かみしもを着た上品な招き猫(初辰猫)が迎えてくれるサイト。ひと口に招き猫といっても、多種多様なデザインがある。このサイトでは代表的なデザインの招き猫をひととおり見られる。「今月の招き猫」のコーナーでは、季節に応じた作者おすすめ招き猫を毎月1匹ずつ紹介してくれる。



かぶちーのはいかが?

http://member.nifty.ne.jp/asaya_sato/

招き猫伝説が残る豪徳寺(東京都)。今でも上品な白い招き猫を授与している。境内の猫塚には役目を終えた招き猫が多数納められ、整然と静かに招き猫が並ぶ光景は美しくて荘厳。このサイトでは、四季折々の豪徳寺の風景を撮影して紹介している。雪化粧した招き猫の表情は必見。



ぼからのきら研

<http://home3.highway.ne.jp/pokara/>

自分で招き猫を作ってみたい、自分だけの招き猫が欲しい……と思ったら、「ぼからのきら研」を見よう。楽しい招き猫の作り方を紹介してある。素材は紙粘土。誰でも簡単に自分だけの招き猫が作れちゃう。自分の部屋に飾るもよし、プレゼントするもよし。ギャラリーでは、ぼからさん作のカラフルな招き猫も展示してある。



こあら's あーとぎやらいい?!

<http://www.yk.rim.or.jp/~koala/>

笑う門には福来る。ここは読んで笑って福を呼ぶサイト。「招き猫の悩み」というショートショートがあり、招き猫愛好家ならずとも笑える。ほかにも秀逸なショートショートがあり、新作は同じく縁起物の「福助」に題をとっている。福助は招き猫のライバルだが、笑えればそれで幸せ。



動物デザイン雑貨・生活雑貨 Puddleby

<http://plaza21.mbn.or.jp/~puddleby/>

日本人なら誰もが知っている招き猫。でも、いざ買おうと思っても、どこで売っているか知っている人は少ない。そんなとき便利なのが、通信販売も行っている雑貨の店「Puddleby」。招き猫と聞いて誰もが思い浮かべる定番の招き猫(マニアは常滑系と呼ぶ)からキャラクターものまで、品ぞろえが豊富な。



岡田黒川堂

<http://www.ichigo.okayama.okayama.jp/~cats/>

岡山県最上稲荷門前にある神祭具と土産物の通販サイト。招き猫も神祭具の店で買ったら、福をたくさん招いてくれそうな気が……。『芸者招き猫』や岡山名産の備前焼きなど、ちょっと変わった招き猫を取り扱っている。代引きの宅配便を利用しているので安心して購入できる。



山貴屋のホームページ「えんぎものや」

<http://www.icity.or.jp/yamakaya/>

招き猫の人形だけではなく、招き猫の酒器やのれん、額縁などを通信販売しているサイト。「えんぎものや」の目玉は純金製と純銀製の招き猫。純金製の招き猫はクルマ1台買えそうなお値段。とても手が出るものではないが見ているだけでご利益がありそう……。目の保養にどうぞ。



招猫倶楽部

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Namiki/9429/>

「招き猫マニアの人がもっと招き猫を好きになり、そうでない人が招き猫をちょっと好きになってもらうこと」を目指すサイト。招き猫の雑学から歴史まで、招き猫のことならなんでもわかる。「珍猫百覧会」のコーナーでは閲覧者から寄せられた珍しい招き猫を公開している。



2 【アート】



インタラクティブアート

少しずつだが日本でも注目を浴びるようになった「インタラクティブアート」。ウェブサイトは、簡単にユーザーとのインタラクションを図れる絶好のスペースだ。

P3 art and environment

<http://www.p3.org/>

東京都四ツ谷にあるアートギャラリーのサイト。開設当初からインタラクティブアートの展示に力を入れており、ウェブサイトを使った作品も多数出展されている。現在は「metaTOKYO Project」というウェブ上のプロジェクトが進められており、10組のアーティストの作品に触れられる。



NET REZONATOR

<http://www.hilab.mag.keio.ac.jp/~nr/>

現代美術の権威あるコンテスト「Prix ARS Electronica」で、98年度のネットワークアート部門で佳作を受賞した作品。WWWブラウザ上の音叉の絵をクリックすると、楽器の音と波紋の映像が現れるというシンプルな仕組み。複数の人が同時にアクセスしてセッションもできる。ぜひ、たくさんの人と楽しみたい。



electronic art talent KANAZAWA

<http://www.iaa.or.jp/~eat/>

「electronic art talent KANAZAWA」(イト金沢)は、石川県金沢市などが主催するアートイベント。国内外のエレクトロニックアートのアーティストを集めて、コンテストやセミナーが開催される。今回は99年2月の開催で、現在コンテスト(インターネット部門、デザイン部門)への出展作品を募集している。



ARTWORK

<http://www.iamas.ac.jp/~aki/menu.html>

ショックウェブを使った作品が集められている。作品はすべて見ている人がマウスを操作することで変化が起きるもの。単純にクリックしたりドラッグしたりするだけでグラフと映像が変わる。「アート」ということを意識しない子供でも十分楽しめるはず。作者は石橋広成氏。



RENGA.COM

<http://www.renga.com/>

中村理恵子氏と安齋利洋氏によるアートユニットのサイト。CG作品をネットワークを通して送り合い、相手の作品を引用したりしながら、詩作の連歌と同じように新しい作品を制作する「連画」で有名。このサイトでは過去の作品の一部が見られるほか、ネットワークアートのプロジェクト「連芸座」のコーナーもある。



sensorium

<http://www.sensorium.org/>

インターネット1996ワールドエキスポ(IWE96)で登場したアートプロジェクト。インターネット上を流れるパケットを音声に変換したり、ルートを地球儀にマッピングしたりするなど、インターネットを使ったアートの可能性を世界に示した画期的なサイト。現在も新しいプロジェクトが進行している。



ICC (INTERCOMMUNICATION CENTER)

<http://www.ntticc.or.jp/>

97年4月にオープンしたメディアアート専門の美術館「インターネットコミュニケーションセンター」(ICC)のサイト。ICCは、インタラクティブアートを多数常設展示している日本では珍しい美術館だ。サイトでは展示作品の紹介のほか、特別展やワークショップの案内、アートデータベースなどが掲載されている。



KAO

<http://www.vc-net.or.jp/~exonemo/ka/>

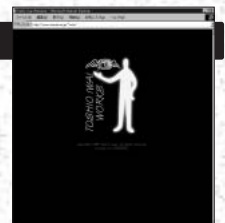
Javaを使ったインタラクティブな作品「KAO」(顔)。自分が作った顔と、ほかの人が作った顔を合わせて新しい顔を作り出すという、一風変わった作品。変化していった過程を家系図のようにして見られる「KAO TREE」や、モーフィングで見られる「KAO ANIME」などがある。



Toshio Iwai Works

<http://www.iamas.ac.jp/~iwai/>

坂本龍一氏との共同作品「Music plays images x Images play music」や、テレビ番組「ウゴウゴルーガ」のCGなどで有名な、メディアアーティスト若井俊雄氏のホームページ。インストールやソフトウェアなどの過去の作品のカタログや、システムに関する詳細な解説が掲載されている。



NETWORK MUSEUM MILLENNIUM

<http://www.dnp.co.jp/millennium/>

「インターネット1996ワールドエキスポ」DNPパビリオンの活動が元になった、ネットワークアートのオンライン美術館。オノ・ヨーコ氏の初めてのネットワーク作品「Acorns」が収められている。ほかにも能楽師・野村万之丞氏の作品や、建築家の坂茂氏のプロジェクトなどが紹介されている。



ARS ELECTRONICA

<http://www.aec.at/>

現代美術の美術館「アルスエレクトロニカセンター」のサイト。美術館の案内や年1回行われるフェスティバル「Prix ARS Electronica」の紹介のほか、アーティストインレジデンスの作品がウェブでも見られるようになっている。また、昨年のフェスティバルのアーカイブもあるので、参考になる。



3 【生活】

ニューヨーク観光

自由の女神、ビッグアップル、ウォール街、マンハッタン……誰もが一度は行きたいと思う街は、サイトも数多い。公式サイトのほか、要チェックサイトをまとめてみた。(Chiaki Kato)

New York Today

<http://www.nytoday.com/>

地元の新聞社ニューヨークタイムズのサイトだけあり、さすがに充実している。イエローページで住所と電話や地図が検索できるのはもちろん、登録すれば自分好みのページにすることも可能。たとえば、特定のアーティストの公演の予定が届くようにもできる。NYへの旅が決まったら登録して使い込んでみては？ 到着後も役に立ちそう。



Paperless Guide to NYC

<http://www.mediabridge.com/nyc/>

94年の5月からやっている老舗サイト。ショッピング情報も結構充実で書店リストも豊富。オンラインでホテル予約もできる。旅行前に必ずチェックしたいのが、マンハッタンの天気予報と「Survival」のページ。トイレの探し方からバスの乗り方、身を守るための情報まで実用的な情報が並んでいる。



Yahoo! New York

<http://ny.yahoo.com/>

あの「Yahoo!」にもNY版がある。使い慣れたインターフェイスでさまざまなNY情報が入手できるのはありがたい。「Travel」の項目には、役立つ情報が並んでいるがレストランリストは利用できるクレジットカードの種類やコメント、価格までかなり詳しい。何でもいからNYの情報をという人のために、「Random」ボタンもある。



Map Blast!

<http://www.mapblast.com/mapblast/start.htm>

所在地を入力すれば地図が表示されるサイト。住所しかわからない店に行く時に役立つだけでなく、たとえば出張先のミーティング場所を確認したりという時にも使える。米国内なら「Yellow Pages」で電話も表示できるし、それ以外の世界各国も簡単な地図なら出せる。類似サイトもあるので、使い比べて気に入ったサイトを見つけよう。



Official New York City site

<http://www.ci.nyc.ny.us/>

NY市の公式サイト。市長のメッセージが読めるだけでなく、リアルビデオやリアルオーディオでも体験できる。ちょっとやりすぎではないかと思うのは私だけ？ 「Events」のページからは数多くの美術館関連ページへリンクしている。有名な美術館ならガイドブックにも載っているが、好みの情報はオンラインの方が見つけやすい。



PAPERMAG

<http://www.papermag.com/>

ネオンサインのような色使いとポップなデザインが魅力的だが、内容も負けていない。トップページと同時にジュリアーニ市長の任期をカウントダウンするウィンドウが開くのがおちゃめ。ファッション関連やクラブ情報などに詳しい。レストラン情報も豊富。雑誌も発行しており、海外からの購読申し込みも受け付けている。



Metropolitan Transportation Authority

http://www.mta.nyc.ny.us/nyct/Subway/Sub_maps/submapmn.htm

マンハッタン地下鉄マップ。路線番号をクリックすると時刻表も表示される。しかし、実際は時刻表のチェックなど必要ない。24時間運行されているから「終電」を気にする必要はないけれど、深夜ならタクシー利用が無難だ。



New York City Beer Guide

<http://www.nycbeer.org/>

NYにも地ビールがあるのをご存じだろうか？ その数も1つや2つではなく、ビールをバブ内で作っているところもあるくらいだ。「地ビール」と聞けば血が騒ぐ人にはぜひおすすめなサイト。「どうせ買い物して観光するくらいしか……」とNYを敬遠しているとしたら、もったいない話。一味違うNYを楽しめばきっとまた行きたくなる。



ZAGAT Survey

<http://www.pathfinder.com/travel/zagat/>

茶色い表紙でおなじみの「ザガット・サーベイ」のオンライン版で、メニューからニューヨークの項目を選ぼう。ガイドブックに載っていたレストランに予約を入れる前に、ここでコメントや料金を確認するのも1つの方法。アルファベット順、ジャンル別のほか、料理のランキングや「お値打ち」な順に表示させることもできる。



CuisineNet

<http://www.cuisinenet.com/>

米国主要都市のレストランをリストアップしているサイト。全米の16都市の中にはもちろんNYも含まれる。基本的な情報のほか、ユーザーの採点結果も表示される。ガイドブックに載っていない穴場のレストランを探してみたい時はオンライン情報が頼り。人気が出て混む前にチェックして行ってみよう。



Official City Guide

<http://www.cityguideny.com/>

無料配布の週刊 Official City Guide のオンライン版。イベント情報などもチェックできる。「Your Evening Cigar」というコーナーは最近の葉巻ブームのせいかもしれないが、喫煙者のためのレストラン・パーストまである。海外旅行のたびに肩身の狭い思いをしている愛煙家には有益な情報。



4 【グルメ】



ベーグル

スーパーモデルが食べている！ という噂をキッカケにじわじわとファンを増やしてきたドーナツ型のパン。愛好家やメーカーのページで、最新情報を読むほどに、ベーグルの魅力を実感できるはずだ。
(服部貴美子)

ベーグルが主役

<http://www.3osk.3web.ne.jp/~komatsu/>
作者が愛して止まない「マコーズベーグル」がページを飾る、愛情あふれるページ。趣味の登山にもベーグルを携帯し、2ショットで撮った記念写真も掲載している。「ベーグルバッグ」や「ベーグルカッター」などのグッズは、いかに頻りにベーグルを食べているかという証なのだろうか？



パスコネット

<http://www.pasconet.co.jp/>
平成8年にできた米国会社「パスコ・コーポレーション・オブ・アメリカ」へのリンクもある。本場仕込みの製法で作られたベーグルを、冷蔵プラントから直輸入。パスコのベーグルを使っている東京の「BAGEL & BAGEL」や大阪の「リパティ・ベーグル」といった専門店のインフォメーションも載っている。



絵満

<http://www.yo.rim.or.jp/~ema/>
大阪・キタ新地のクラブのメニューにも使われているというカナダのベーグルを紹介。他店では手に入らない「テングレイン」や「レーズン&ハニー」などが人気だ。まだページは少ないが、モノクロの画像がベーグルの素朴な風合いを引き立ており好感度大。送料別で地方発送も受け付けてくれる。



はろー! アイム ベーグルくん!(FamilyMart)

http://www.family.co.jp/vup/bagel/rg_bagel1.html
「山の手線ジャック」をはじめ、この夏のベーグルくんの活躍が、一気にベーグルをメジャーフードに押し上げた。キャラクターデザインを担当したロドニー・A・グリーンブラッド氏は、パフィーのCDジャケットで有名な売れっ子デザイナー。CMだけではわからない秘密はここでチェックだ。



BAGEL CITY

<http://www.acekids.com/bagels1.htm>
ベーグルに髪や表情を付け、靴まで履かせて、キャラクターを作ってしまう! という、なんともアメリカ的なポップでカラフルなサイト。いかに彼らが日常的にベーグルを食べ、愛着を持っているかが伝わってくる。子供向けのページだが、大人でも十分に楽しめ、妙に和んでしまうのはなぜだろう……。



ベーグル大好き(ベーグル普及委員会)

<http://www.ixicorp.com/bagel/>

開設から1年で会員は約200名に増加。日本各地のベーカリーにあるベーグルの種類や価格の一覧表、専門店の店長インタビューなど、ここでしか手に入らない話題を満載している。メーリングリストでは、早耳のメンバーによる新製品や新ショップ情報が飛び交い、オフミーティングの企画も活発だ。



Bagel Fujimoto

<http://www.jade.dti.ne.jp/~bagel/>

株式会社ふじもとは、アメリカからベーグルの生地を冷凍輸入し、日本中のベーグルショップに卸している会社。クリントン大統領のお墨付というベトロフスキーベーグルと、ややハードな食感のクーベルスベーグルを画像付きで紹介している。「ベーグルズ広尾」など、直営店の情報が入るのも嬉しい。



bagelnewpage(BAGEL BAR)

<http://www.iqassist.co.jp/bagel/>

赤坂のアメリカ大使館ご用達のベーグルショップはココだ。店長の写真入りのメッセージが、アットホームなショップの雰囲気象徴している。ヘルシー感を大切にしたサンドウィッチのラインナップも必見だ。割引クーポンが付いているので、ぜひとも出かける前にアクセスして。



BREAD FILE

<http://www.mid.or.jp/bread/>

世界中のおいしいパンの知識を集め、ブーム以前からベーグルにも触れていた、いわば老舗サイト。ベーグル誕生の歴史から、栄養成分までキッチリ押さえたうえで、ヘルシーなレシピを紹介するきめ細やかに、女性らしいセンスが光る。他のパンも美味しそうで、目移りしてしまうかも？



お茶のベーグル(マルモ)

<http://www.taberuocha.co.jp/>

静岡のお茶屋さん「マルモ」のサイトには、緑茶や抹茶を使った料理のコーナーがあり、ベーグルのレシピも本格派。好評につき、紅茶バージョンもできた。低脂肪、低コレステロールのベーグルと、「成人病予防に効果あり!」と謳われるお茶の組み合わせは、21世紀のゴールデンコンビとなるが。



Jack's Famous Bagels

<http://www.bagelnet.com/>

オブジェのようにベーグルをあしらったトップページから入場すると、中はベーカリーの厨房に、機械からドーナツ型になって次々と出てくる生地を焼いていく様子が見られる。なんと早期2時からオープンを温めているとか。それにつけても、種類の豊富さと価格の安さは、羨ましい限り。



INTERNET
YELLOW
PAGES

PAGES

5 【社会・学問】



気象

行楽シーズンを迎え、天気が気になる季節になった。またこれからは台風のおきも気になるところ。そこで出かけの前には気象情報サイトをチェックしておこう。

防災気象情報サービス

<http://tenki.or.jp/>

グラッと来たとき、このサイトをチェックしよう。震源地や地震の規模、深さ、各地の震度、津波警報・注意報の出ている地域、津波の到達時刻などが速報されている。また、全国に出されている気象に関する警報・注意報が詳細に表示されているので、大雨が降って河川の増水や崖崩れなど不安なときもチェック。



ウェザーテック

<http://www.wet.co.jp/>

現在の南極の天候や気温など、日本各地や世界主要都市の現在の天候をビデオカメラで見られる「Weather & Sky Now」がある。ウェザーテックは東海地方をテリトリーとする気象事業者だが、全国天気予報も掲載されている。余計な画像は少なく、必要な気象情報のみをシンプルに掲載したページは動きがシャープで心地よい。



高知大学気象情報ページ

<http://weather.is.kochi-u.ac.jp/>

日本における気象情報リンクサイトの草分け。日本ばかりでなく世界中の気象に関する公的機関や研究機関のサイトを紹介している。ひまわりの可視画像を赤、熱赤外画像を緑、水蒸気画像を青に割り当ててカラー合成した画像や動画、ヨーロッパ、アメリカ、日本の気象衛星画像を合成した地球全体の画像などがある。



Weather Forecast(アース・ウェザー)

<http://www.u-netsurf.or.jp/ewi/>

日光や東京ディズニーランド、ゴルフ場など関東圏のピンポイント気象情報がある。行楽地の天気を知りたいときに便利だ。特にゴルフ場については、コースの状態や風の影響度、雨具の用意の有無などプレイするのに必要な情報が掲載されている。全国主要都市の週間天気予報や空港の気象情報もあるので、出かけの前にチェック!



財団法人日本気象協会

<http://www.jwa.go.jp/>

テレビやラジオで日々の気象情報を伝える気象予報士の多くが所属する日本気象協会のサイト。300人を超える気象予報士がいる日本最大の気象事業者のページにはシンプルで、日本の気象情報は東京と京都だけ。世界各地の気象情報もニューヨーク、パリなど7か所のみだが気象衛星画像は大きくて見やすく、一見の価値がある。



財団法人気象業務支援センター

<http://www.jmbisc.or.jp/>

今年8月30日に実施された気象予報士試験には過去最高の4,213名が受験したが、この試験を実施している気象業務支援センターのサイトがここ。気象予報士試験の要項や試験範囲、日程など受験手続きに必要な情報が揃っている。気象予報士試験講習会案内や気象予報士試験関連の書籍案内、気象データCD-ROMの紹介もしている。



WeatherEye(CRC総研)

<http://www.crc.co.jp/weather/>

「どしゃ降り雨でカミナリが鳴っています」とか「23時に雪が降り始め、現在積雪10センチ」など、全国各地の気象情報をネットサーファーがリアルタイムに書き込める「リアルタイムお天気」がある。日本における気象サイトの草分け的存在だけあって、短期天気予報や注意報/警報など日常に必要な気象情報はひととおり揃っている。



新日本気象海洋株式会社

<http://www.metocean.co.jp/>

気象予測に必要な「週間予報支援図」という天気図が無料で掲載されているサイト。アメダス全国主要地点の前2日間の降水量や気温、風向、風速がグラフで表示されているほか、レーダーアメダス実況も見やすく工夫されている。もちろん天気予報やひまわり画像もある。気象予報士や気象予報士を目指す人、気象マニア必見!



WNI Cyber Weather World

<http://www.wni.co.jp/cww/>

民間気象事業者の最大手ウェザーニュースのサイト。天気予報、台風情報、ひまわり画像、オートキャンプ場情報、ゴルフ場情報、マリナー情報、釣り情報、空港の天気、世界の天気と日常生活に必要な気象情報はひととおり揃っている。各ページとも明るくデザインされとても見やすい。人気のあるサイトなので台風接近時などは重い。



国際気象海洋株式会社

<http://www.imoc.co.jp/wxfax.htm>

山登りに必要な850hPa、700hPa、500hPa、300hPaの実況高層天気図が掲載されている。またレーダーアメダス合成図と1時間後、2時間後、3時間後までの降水量予測、卓越天気・降水量・降水確率図や波浪予想図などがある。府県天気予報などはテキストオンリーのシンプル作りで、見やすく軽いシャープな動きが特徴。



TBS Weather Guide

<http://www.tbs.co.jp/weather/>

気象衛星「ひまわり」の画像データをアニメーションで見られるサイト。全国各地の週間天気予報や全国アメダス日照、予想最高気温、予想最低気温、関東地方の時系列予報、紫外線情報、海外気象情報などさまざまな気象情報がある。転送情報量を少なくするため、情報表示画面は小さいがとても見やすい。





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp